

御祭神

帶中津日子命 (仲哀天皇) 八幡三神の1神
品陀和氣命 (忘神天皇) 八幡三神の1神
息長帶日売命 (神功皇后) 八幡三神の1神
素盞鳴命
伊邪那岐命
伊邪那美命
黄泉事解男命
大己貴命
少彦名命
猿田彦命
天鈿女命

源氏が崇敬した日本の守護神。
学問、文化、産業、生活等す
べてを守護する神様。勝負神。
八岐大蛇を退治する。
産業振興、国土開発の神様。
夫婦の道を開き、万物生成の神様。
日本国土や神々を産む。
夫婦の道を開き、万物生成の神様。
日本国土や神々を産む。
過去一新、住宅新築の神様。不敗を誓う言葉から生まれる。
大国主命。
国土開発、経営、医薬、酒造の神様。
交通安全、除災、方位除けの神様。
癒し、歌舞芸能の神様。
天岩戸で踊りを披露し心を癒す。

旧神社名
八幡神社
//
//
日吉神社
客社新宮(上小深川)
新宮神社(上小深川)
佐古新宮(上小深川)
大宮神社
//

御由緒

河内神社は、広島五日市に鎮座する河内地区(上河内、下河内、上小深川、下小深川、藤の木、河内南)の氏神社・氏神さまです。

大字旧各村内には古くから、八幡神社(上河内中郷)、佐古神社(上河内下城)、客人神社(上河内魚切)、日吉神社(下河内[現御旅所・通称権現さん])、新宮神社三社(下河内白川、上小深川、下小深川)、大宮神社(上小深川野登呂)の八社がありました。これらの神社を明治四十年(一九〇七)に政府の指導によって合祀・統合し、河内地区の氏神社・産土神社として「河内神社」と改称しました。

現在の本殿は、合祀した旧佐古神社の境内地に、旧日吉神社の本殿をその当時に移築したものです。また同時に、拜殿・幣殿を新築し、神社境内・参道の整備を行い、現在の姿になりました。(詳細は境内石段の脇の神社合祀の祈念石碑に刻まれています)
それらの神社の中には、延喜年間(九〇一―一二三)に勧請されたと伝える神社もあり、江戸時代の享保六年(一七二二)に八幡宮を再建したときの棟札も残っています。その他、旧各社もおおよそ中世の頃の創祀と思われれます。
遠い祖先の頃より、尊いご神徳を人々に授けられ、河内地区の守護神、鎮守の神として人々から広く崇敬されています。

境内社(摂社)

河内忠魂社
日清戦争以降の河内地区の戦没者の英霊を悼み祀る。

例祭日 四月二十九日
宇迦之御魂神、猿田彦命、大宮女神を祀る。

稲荷神社
例祭日 三月第二日曜
五穀豊穡、商工業繁栄、家内福徳円満の神様として崇敬されています。